

◆編集・発行

茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和3年2月末現在
男 16,005人
女 15,926人
総人口 31,931人
世帯数 13,275世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花 桜

◆町の木 梅

◆町の鳥 うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合

防災行政無線テレホンサービス
☎ 0800-800-8848
(通話料無料)

町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>
- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>
- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.104 ヒレタゴボウ
(フトモモ目 アカバナ科)

学名 *Ludwigia decurrens* Walt.

写真・文 安 昌美

▼ヒレタゴボウとは
アカバナ科チョウジタデ属の一年草で、外来植物です。水田雑草として知られ、湿地や休耕田などに群生することもあります。水田の畔近くに、幅は狭いですが、帯のように群生して花をつけている時は目立ちます。草丈は1m以上になることもありますが、茎には3から4の稜（ヒレ）があること、葉の茎に付く部分の裏もヒレ状になっており、これが名前の由来になります。タゴボウは丁子蓼（チョウジタデ）のこと、で、在来の水田雑草で、町内の水田に普通に見られます。別名にアメリカミズキンバイがあり、キンバイは花の様子から、の名前です。黄色の鮮やかな花弁は、一見すると園芸植物かと思うほど目立ちます。しかし、イネの生育を邪魔するため、除草剤使用の対象植物に なっています。

▼ヒレタゴボウの渡来
ヒレタゴボウの原産地は熱帯アメリカ地方で、北はアメリカ合衆国東南部から、南はアルゼンチン北部までとされています。日本では昭和30年に四国の松山市で採集され、昭和31年に発表されています。少し遅れて昭和33年には、同じく四国の徳島市で昭和29年に採集されたことが発表されました。高知市ではもともと古くから生育していたという説もあるそうです。帰化植物図鑑等で

は昭和30年説が紹介されています。現在では本州（関東地方以西）、四国、九州に分布しています。千葉県では昭和41年に見つかり、岡山県では昭和42年に生育が確認されています。茨城県では昭和56年にはまだ記録がありませんので、それ以後の侵入と思われる。現在は稲敷市、取手市、龍ヶ崎市の牛久市、つくばみらい市などの県南部地域には広く見られます。県北部にも侵入してきています。南部ほどは目立ちませんが、私の知る範囲では、水戸市そして那珂市が一番北の生育地になります。特定外来生物に指定されているわけではありませんが、外来種の増加という問題を抱える植物でもあります。

ちびっ子アート 大戸幼稚園



「ともだちとみんなで
くらしたいな」
しみず あやと（6歳）



「ともだち だーいすき♡」
なかむら あすか（6歳）